

TOTO

台付きサーモスタットシャワー金具 (UB用)

TMJ46型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1




安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)





取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。




●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。




●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

 	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

 警告	
 禁止	<p>湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p> <p>給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
 分解禁止	<p>この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
 必ず実行	<p>目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う 使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。</p>

 警告	
 必ず実行	<p>フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、必ず止水栓を閉めてから行う また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認する 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
 禁止	<p>寒冷地用 水抜コックは水抜き以外の目的で開けない 水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

 注意	
 禁止	<p>強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
 必ず実行	<p>クリックタイプ 必ず調圧弁を取り付ける 調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部に保温材を巻く また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

2 仕様

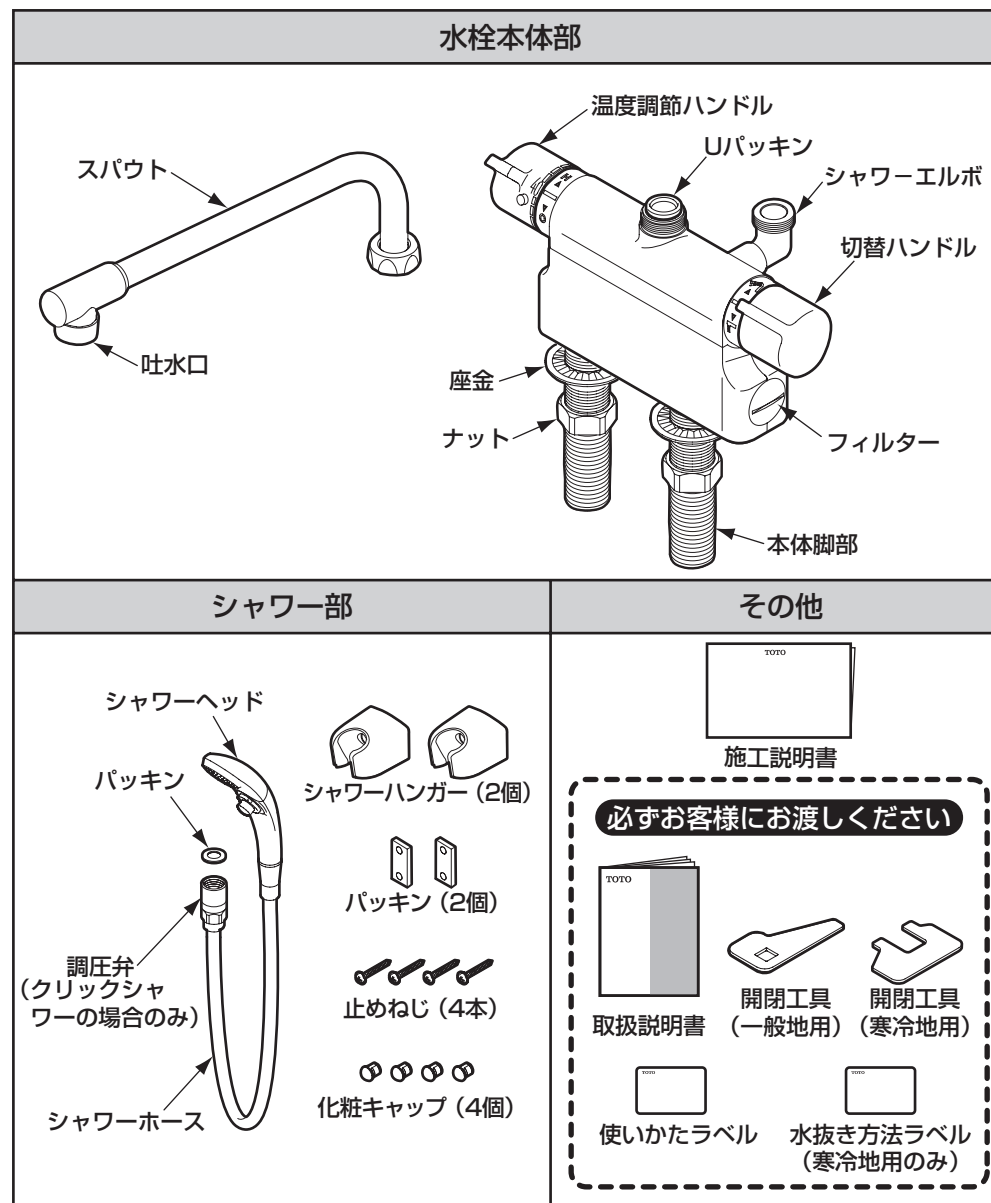
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa (流動時) (クリックタイプ・エアインの場合は0.07MPa)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅浴室用

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機の設定温度は、使用する吐水温度より高めに設定してください。
- やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を超えない設定をしてください。
快適な吐水温度を確保するために50~60℃設定をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

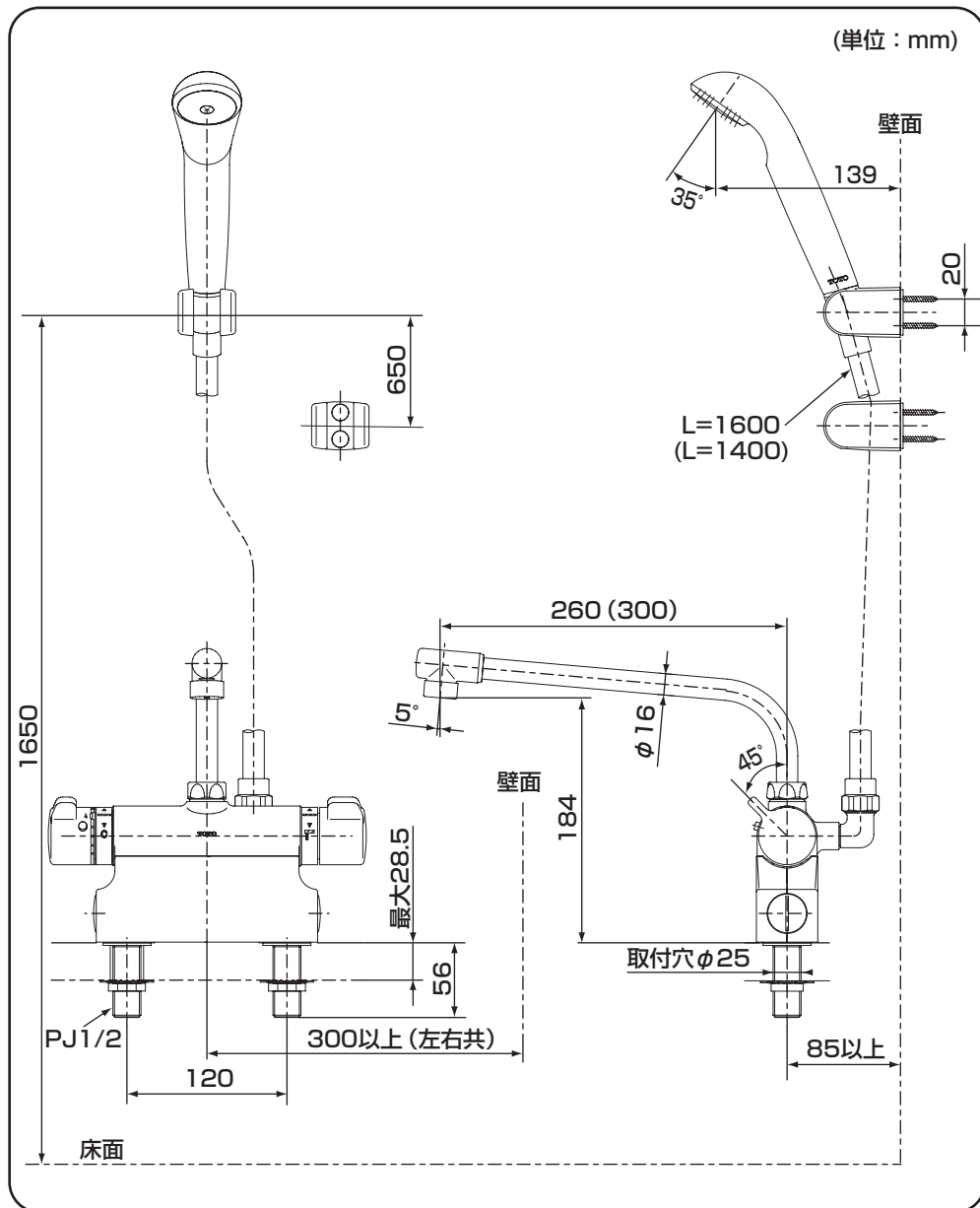
次の部品があることを確認してください。



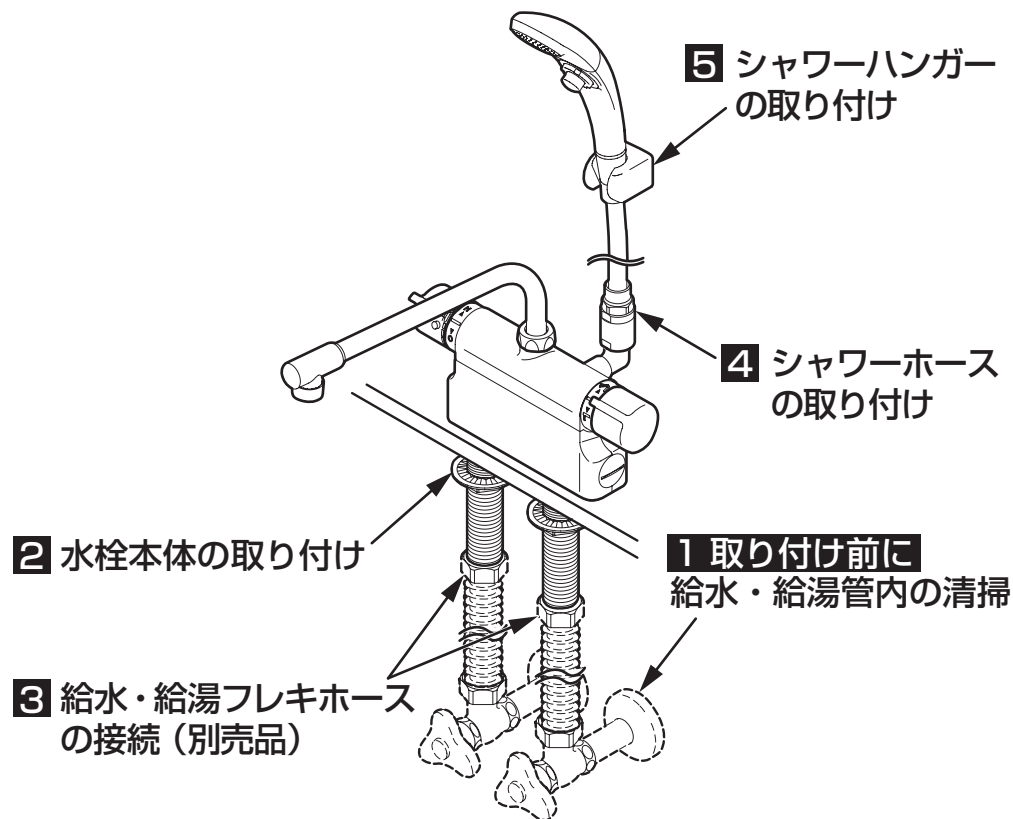
※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1 施工手順



1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

- ① 吐水量が少ない
 - ② 温度調節がうまくできない
- 給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。



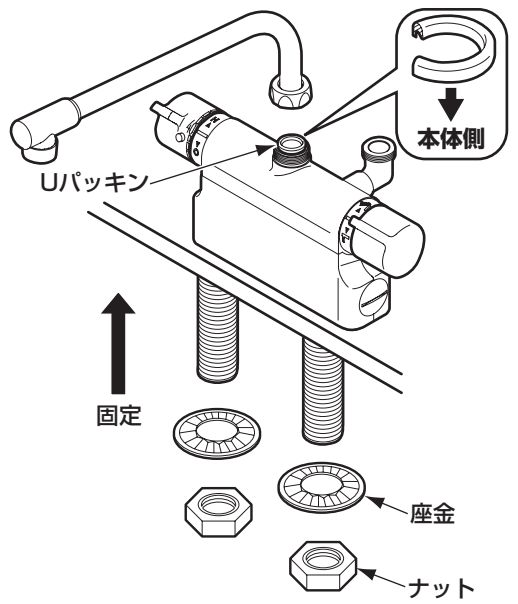
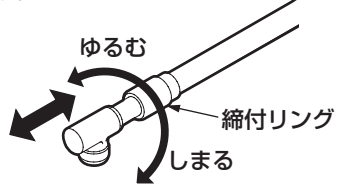
2 水栓本体の取り付け

①スパウトを水栓本体に取り付ける。

注意

Uパッキンの向きに注意してください。
Uパッキンは開いている方が本体側です。

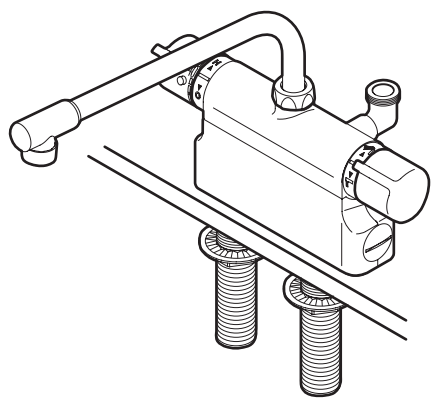
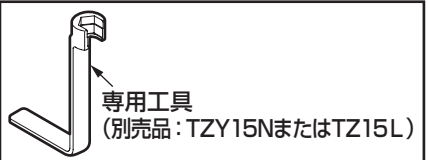
＜伸縮自在スパウトの場合＞
吐水口は真下を向いた状態で取り付ける。



②取付穴周囲の汚れを取り、本体が正面を向くように固定する。

注意

固定には別売りの締付工具 (TZY15NまたはTZ15L) を使用して確実に締め付けてください。



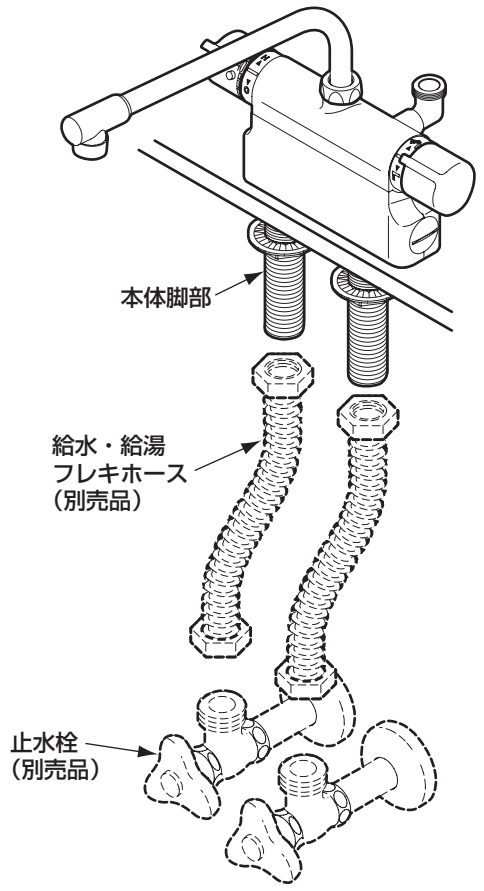
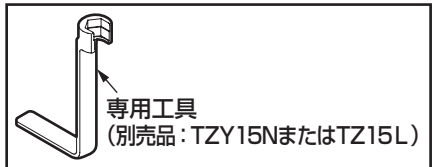
3 給水・給湯フレキホースの接続

①本体脚部に市販の給水・給湯フレキホースの袋ナット部を手締めで締め付ける。

②さらに工具で1回転以上締め付ける。

注意

固定には別売りの締付工具 (TZY15NまたはTZ15L) を使用して確実に締め付けてください。



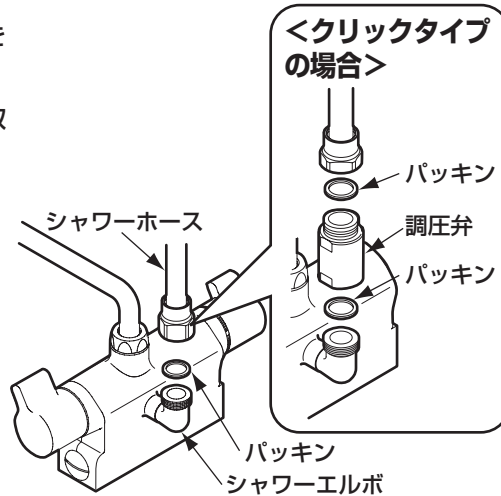
4 シャワーホースの取り付け

- ① シャワーエルボが左右に振れることを確認する。
- ② シャワーエルボにシャワーホースを取り付ける。

注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- クリックタイプの場合は必ず調圧弁を取り付けてください。

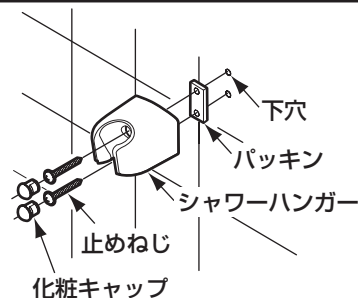
調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れするおそれがあります。



※調圧弁は手締めで確実に取り付けてください。

5 シャワーハンガーの取り付け

- ① 下穴をあける。
※取付位置は ⑤ 「完成図」を参照
- ② パッキンをシャワーハンガーの裏面に貼る。
- ③ 止めねじでシャワーハンガーを固定する。
- ④ 化粧キャップをねじ穴に確実に押し込む。



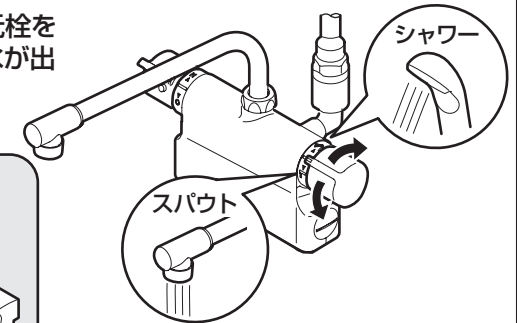
施工後の調節

1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトおよびシャワーから水が出るか確認してください。

注意

エアインシャワーの場合、シャワーを止めたあと、一般シャワーヘッドとは異なり、シャワーヘッド根元にある吸気口より水が排出されます。故障ではありません。

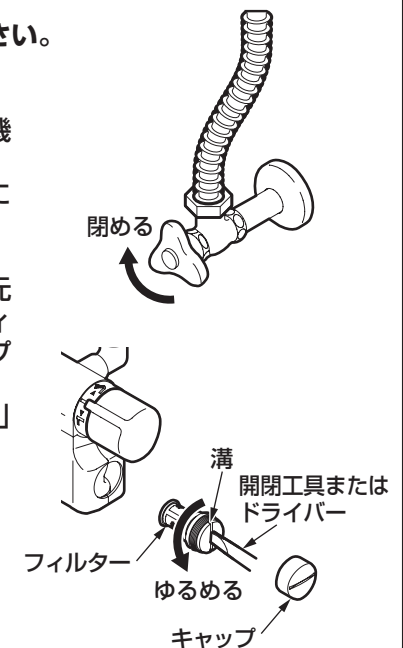


2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、止水栓または元栓を閉め、開閉工具またはドライバーでフィルターを外してください。また、給湯パイプが熱くないことを確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)

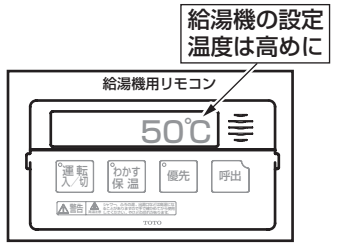


3. 吐水温度の確認

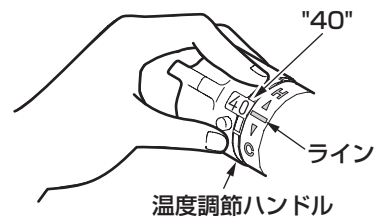
温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定する。

温度調節ハンドルは目盛り"40"の位置で40℃の湯を吐水させるためには、給湯機の温度設定を40℃より高めに設定してください。快適な吐水温度を確保するために50~60℃設定をおすすめします。



2. 温度調節ハンドルの目盛り"40"をラインにあわせる。

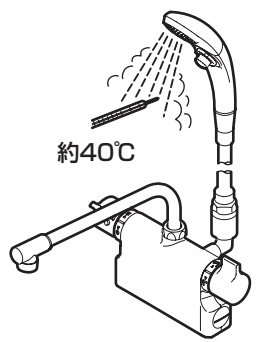


3. 切替ハンドルを上（シャワー側）に回す。シャワーから水が出ます。



4. 吐水温度を確認する。

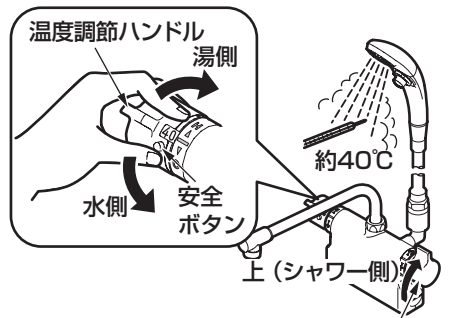
吐水温度が約40℃であればそのままご使用ください。温度が低い場合は、40℃の湯が出るまで給湯機の設定温度を上げてください。やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を超えない設定をしてください。給湯機を50℃以上に設定しても温度が低い場合はハンドル設定が必要です。



4. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。TOTOメンテナンス(株)においてもハンドル設定を承りますが有料作業となります。

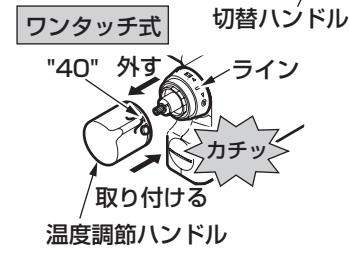
1. 切替ハンドルを上いっぱい回す。シャワーから水が出ます。
2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温(約40℃)の湯が出る位置まで回す。



3. 温度調節ハンドルを外す。

ビス止め式
温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。

ワンタッチ式
温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜き取ってください。



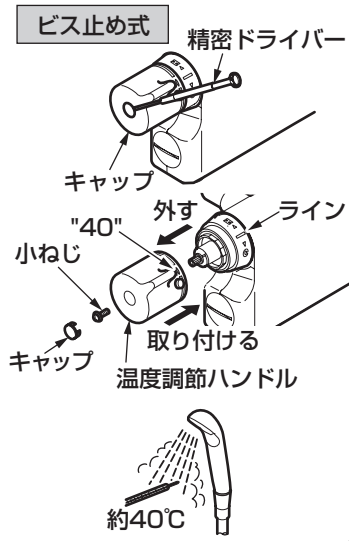
注意
キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。

注意
ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバー部を軽くたたいてください。

4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

ビス止め式
目盛り"40"の文字とラインをあわせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。

ワンタッチ式
目盛り"40"の文字とラインをあわせて温度調節ハンドルを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



5. 固定後に適温（約40℃）の湯が出ているか確認する。



取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

① ナットは十分締め付けていますか？

↳ 6-2 - ②「水栓本体の取り付け」参照

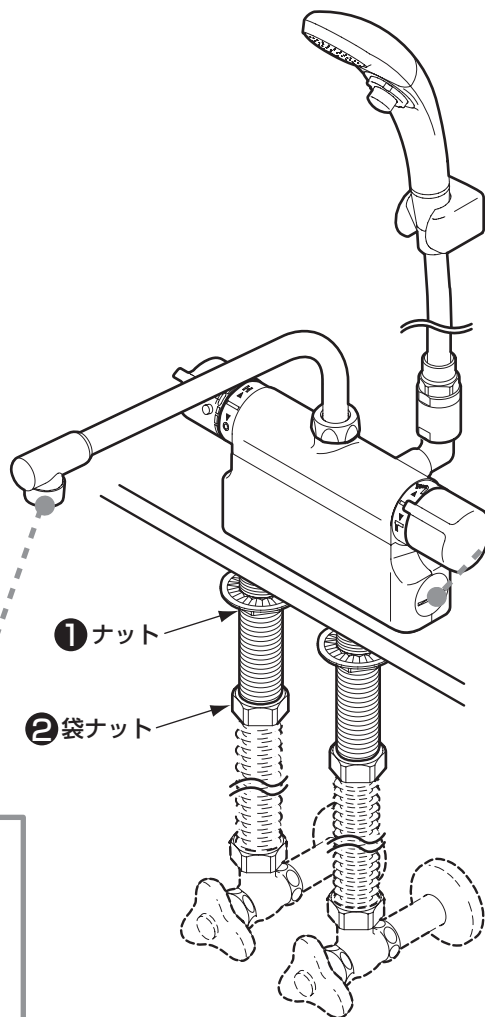
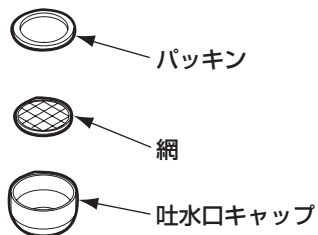
水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

② 袋ナットのゆるみはないですか？

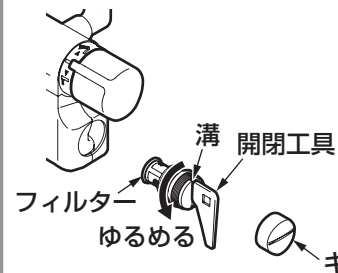
↳ 6-2 - ③「給水・給湯フレキホースの接続」参照

④ 吐水口部

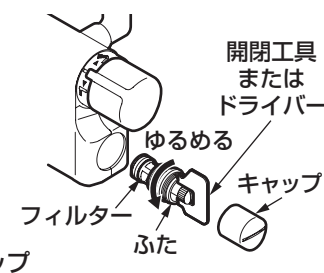


③ フィルター部

一般地用



寒冷地用



流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

③ フィルターのごみ詰まりはないですか？

↳ 7-1 ②. フィルターの掃除 参照

④ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

↳ 吐水口の掃除をする。



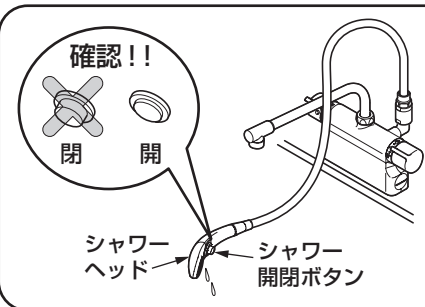
寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

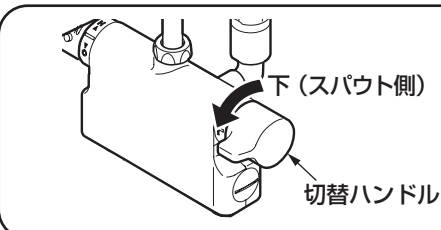
水栓内の水抜き作業を行う前に、配管内の水抜きを必ず行ってください。配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜かず凍結のおそれがあります。

重要

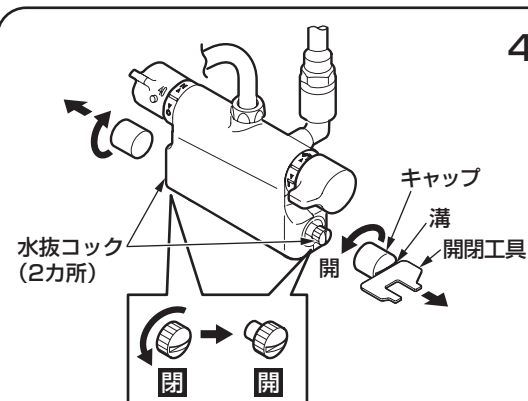
下記の手順に従って水栓の水抜きを行ってください。



1. クリックタイプの場合は、シャワー開閉ボタンが“開”の状態になっていることを確認する。
2. シャワーヘッドを床近くに置く。



3. 切替ハンドルを下いっぱい回す。

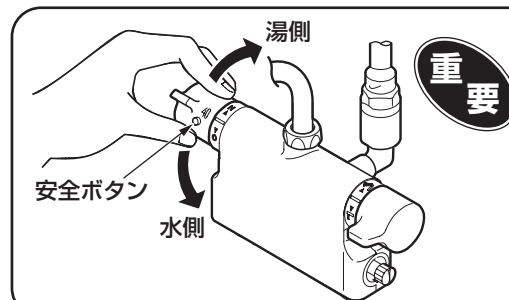


4. 水抜コックをすべて開ける。(空気を取り入れ、水を抜けます)

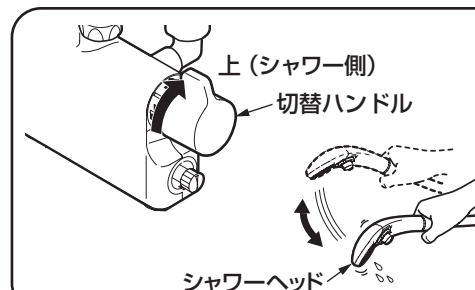
開閉工具を溝に差し込み、キャップを取り外し、水抜コック2カ所を反時計回りに止まるまで回す。

注意

取り外したキャップは紛失しないように注意してください。

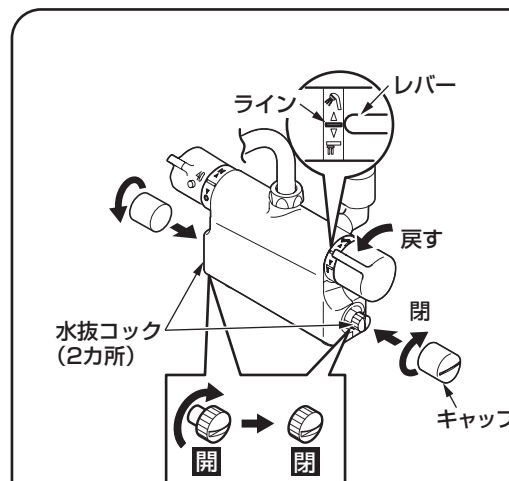


5. 安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを湯側・水側と複数回切り替え、スパウトから水を抜く。(確実に水を抜くため)



6. スパウトから水が出なくなったら、切替ハンドルをシャワー側いっぱい回して、ホース内の水を抜く。

シャワーヘッドを下向きにし、よく振って中の水を抜いてください。



7. 水抜コック・切替ハンドルを閉める。(水抜き完了)

切替ハンドルのレバーを水栓本体のラインの位置(水が出ない状態)に戻し、取り外したキャップを取り付ける。

重要

水抜コックを閉める前に、確実に水が抜けたことを確認してください。(水抜きが不十分な場合、凍結破損のおそれがあります)

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。